

第3回 但東地域デザイン懇談会を開催しました

回
覧

「第3回但東地域デザイン懇談会」を、8月4日（水）高橋地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、まず前回の結果について振り返りを行いました。
次に、年代別のグループに分かれ、各グループで議論をしたい施設を決めました。その施設について「集約・統合すべき役割・機能」、「どこにあると良いか」、「利用者にとってのメリット」などを話し合い、さらに「新たなサービスの提案」についても検討しました。最後に各グループワークでの結果発表し、参加者全員で共有しました。

● 懇談会の様子 ●



● 議論した主な施設 ●



〈日本・モンゴル民族博物館〉

〈但東中央体育館〉



〈資母体育館〉

など...

※ 次回開催日は決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

Aグループ

モンゴル民族博物館
健康福祉センター

地域特産物加工施設

- ・ 高齢者の方にサロンをしてもらい、子どもとの交流の場に。
- ・ 相談に行けばすぐに対応してくれる。安心する。
- ・ 福祉教育ゾーンとして、中学校の敷地内に移転してはどうか。
- ・ 中学校の給食センター跡に移転してはどうか。
→子どもたちが地域の特産品を知る機会になる。

Bグループ

但東中央体育館

資母体育館

健康増進センター
(シルクドーム)

- ・ 中学校の体育館で代替できないか。(一般開放する)
- ・ 場所が良い。(但東地域の中央にある)
- ・ 子育てイベントを体育館、モンゴル博物館、たんたん温泉などを活用しながら行うことを、継続的にプランニングする。
- ・ 高齢者の集いの場であり利用も多い。欠かせない施設。

Cグループ

健康福祉センター

但東中央体育館

- ・ トレーニングジムの指導員を民間委託とし、休日・夜間利用も可能にすると良い。
- ・ (仮定) もし「但東小学校」が中学校の隣接地にできるとするなら、学校と兼用で利用でき、中央体育館としての機能を持つ体育館を作ってほしい。

Dグループ

赤花そばの郷

シルク温泉館

資母体育館

モンゴル民族博物館

- ・ たんたん温泉と統合してはどうか。セットでPRする
- ・ 今の場所に定着している。たんたん温泉とは性格が違うのでは。
- ・ 博物館の展示スペースとして利用しても良いのでは。
- ・ モンゴルだけではなく、“但東町”の博物館としても活用する。
- ・ アピールの仕方、使い方をみんなで考えていく！

◆ご意見・ご感想◆

- ・ 小グループ、同年代の方たちが多く話しやすかった。
- ・ 真剣に考えるととてもいい意見が出て、みなさんの意見も素晴らしいと思った。
- ・ 考えることはみなさん一緒に、もどかしさを感じられた。
- ・ 初めての参加でしたが、いい経験となった。
- ・ 話し合い、意見が出しやすく良かった。
- ・ もう少し参加者がそろってほしい。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
但東振興局 地域振興課 電話 54-1000